

心に残る文化財子ども塾 大田市立大田小学校

1. 活動の概要

令和3年7月6日（火）、大田市立大田小学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。6年生1・2組の皆さんと大仏パネル体験や和同開珎作りを行いました。

大仏パネル体験では、皆で協力しながら大仏パネルを完成させ、奈良の大仏が作られた意味やその大きさを実感してもらいました。また、和同開珎作りでは、体験活動などを通じて奈良時代の社会の様子や貨幣の意味について理解を深めました。

2. 活動の様子



大仏パネル体験



和同開珎作り

3. 活動を終えて

①生徒のみなさんから

- ・大仏パネルを皆と協力して作ることができて良かった。
- ・奈良の大仏について詳しく知ることができたので、コロナが落ち着いたら実際に行ってみたい。
- ・和同開珎作りは初めての体験で磨き作業などが楽しかった。
- ・和同開珎作りが心に残った。昔のお金についてもっと知りたいと感じた。
- ・島根県の歴史について詳しく知りたいと思った。

②先生から

- ・実物大のパネルを完成させることで実感がわいたと思う。体験活動を通じて歴史に興味を持った様子であった。
- ・歴史の学習をより身近なものとして捉えることにつながったと思う。
- ・コロナ禍の最中でもあり仕方ないことだが、事前に直接打ち合わせが実施できると教員側としても勉強になると感じた。
- ・和同開珎作りの際、金属を固めている間に他のお話を聞くことができるとさらに良いと思った。

③古代出雲歴史博物館から

- ・先生からの意見にもあったように、事前に現地を下見した上で直接打ち合わせが実施できれば良かったと思う。
- ・当日は片付けも含めて比較的スムーズに進行できた。